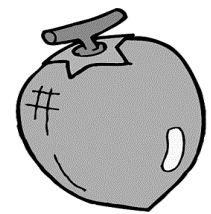


柿栽培技術情報（7月の管理）



令和6年7月1日

宮城県大河原農業改良普及センター

《7月のポイント》

6月に引き続き、落葉病と炭そ病の重点防除時期です。

- ・ 降雨前に薬剤防除を実施しましょう。
特に保護殺菌剤は降雨前に防除しないと十分な効果が得られません。
- ・ 既に炭そ病の枝病斑が見られます。徹底して取り除きましょう。

1 気象経過

5月から6月の気温は、平年より平均2℃高く推移しました。降水量は6月上旬までは平年並、6月中旬からはかなり少なくなり、旬ごとの差が目立ちました。

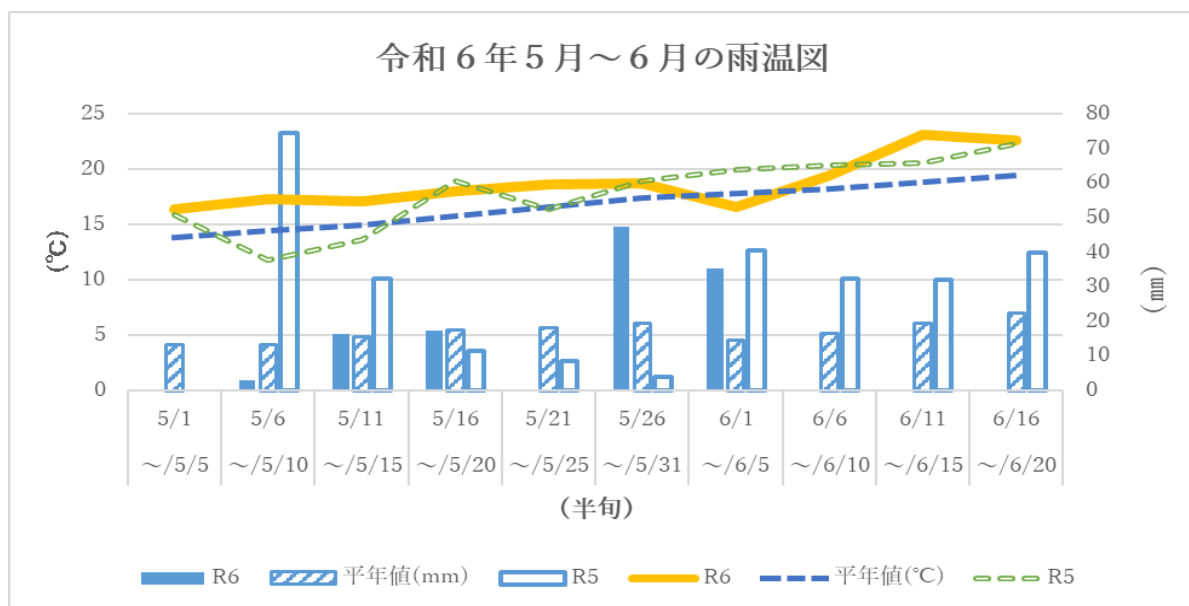


図1 アメダス丸森地点の半旬別合計降水量及び気温の経過
(棒グラフ：平均降水量、折れ線グラフ：平均気温)

2 栽培管理

(1) 摘果

イ 時期

生理落果の終了後（7月上旬ごろ）に着果状況を確認してから仕上げ摘果を始めます。また、生理落果が多い樹では、摘果は控えましょう。

ロ 着果の基準

結果枝の基の方や先の方を摘果し、中央部の形と肥大の良い果実を残すようにします。着果数は葉の枚数に応じて調整してください。以下の表を着果基準の参考に摘果してください。

枝の種類	着果数
長果枝（30cm以上）	2果（中央部の果実を残す）
中果枝（10～30cm）	1果（2果の場合は先の方の果実を残す）
短果枝（10cm以下） 下向きの弱い枝	着果させない

(2) 新梢の管理

イ 時期

7月末まで（枝が固くなる前）

ロ ポイント

- ・ 骨格となる枝の直上に発生した徒長枝や枝が伸びる方向に逆行する徒長枝は、早めに除去します。
- ・ 大きな切り口に発生した徒長枝は、切り口に近いものを数本残して整理し、切り口のゆ合を促進します。
- ・ 弱い徒長枝は、次の年の側枝に育成することもできます。

3 病害虫防除

- ・ 気象情報に留意しながら降雨前の予防散布を基本に10日～15日ごとの散布を心がけましょう。

(1) 炭そ病

イ 耕種的対策

- ・ 病斑枝の切除を徹底し、園地外に処分しましょう。
- ・ 枝の軟弱徒長を防ぐため、窒素質肥料の多肥は避けます。

ロ 薬剤防除

- ・ 6月上旬～7月中旬、8月下旬～9月下旬までが重点防除時期です。



炭そ病の徒長枝病斑

(2) 落葉病

イ 耕種的対策

被害落葉は土中に埋める等、適切に処分します。（落葉処理）

ロ 薬剤防除

- ・ 7月上旬までが重点防除時期です。
- ・ 予防の薬剤散布に努めましょう。

※感染から発病までの潜伏期間が非常に長く、防除適期には発病が全くみられません。しかし、発病後の薬剤散布は効果が薄いため、この時期の散布を心がけましょう。

円星落葉病：5～7月に感染し2～4か月程度の潜伏期間を経て9月以降に発病する。
（二次感染なし）

角斑落葉病：5～6月に感染し1か月程度の潜伏期間を経て7月頃から発病する。
（二次感染あり）



円星落葉病の秋の病斑

(3) イラガ 類

イ 生態

- ・ 幼虫は緑色で体に多数のトゲをもっているのが特徴です。このトゲに触れると激しい痛みが生じます。
- ・ 6月～7月頃から、幼虫は葉の表皮を残して葉裏から葉肉組織を食害します。
- ・ 食害痕は白く目立ち、食害が進むと葉の主脈や葉柄のみになります。



イラガの幼虫

ロ 防除

薬剤による防除は6月下旬～8月上旬です。葉裏を確認し、幼虫の発生初期に防除を行います。

4 1か月予報（6月29日仙台管区気象台発表）

東北地方 1か月予報 (06/29～07/28)		
2024年06月27日14時30分 仙台管区気象台発表		
特に注意を要する事項	期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 06/29～07/28	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率80%です。
	降水量	降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。
1週目 06/29～07/05	気温	1週目は、高い確率80%です。
2週目 07/06～07/12	気温	2週目は、高い確率70%です。
3～4週目 07/13～07/26	気温	3～4週目は、高い確率50%です。

農薬危害防止運動実施中！

宮城県では、6月1日から8月31日を農薬危害防止運動実施期間と定め、農薬の安全・適正使用を推進しています。農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農作物を届けるため、農薬は適正に使用しましょう。

- ① 適切な防護装備の着用を徹底しましょう
- ② 土壌くん蒸剤を使用した後の適切な管理をしましょう
- ③ 住宅地等で農薬を使用する際には、周辺への配慮及び飛散防止対策をしましょう
- ④ 農薬の保管管理を徹底しましょう
- ⑤ 農薬容器のラベルをよく読みましょう



農薬危害防止運動
リーフレット

普及情報分類名〔病害虫〕

情 14 カキ炭疽病の枝病斑から飛散する分生胞子の飛散消長

宮城県農業・園芸総合研究所

要約

カキ炭疽病の枝病斑からの分生胞子の飛散は5月上旬ごろから始まり、6月から7月まで飛散数が多くなる傾向にあり、飛散は9月下旬まで継続する。

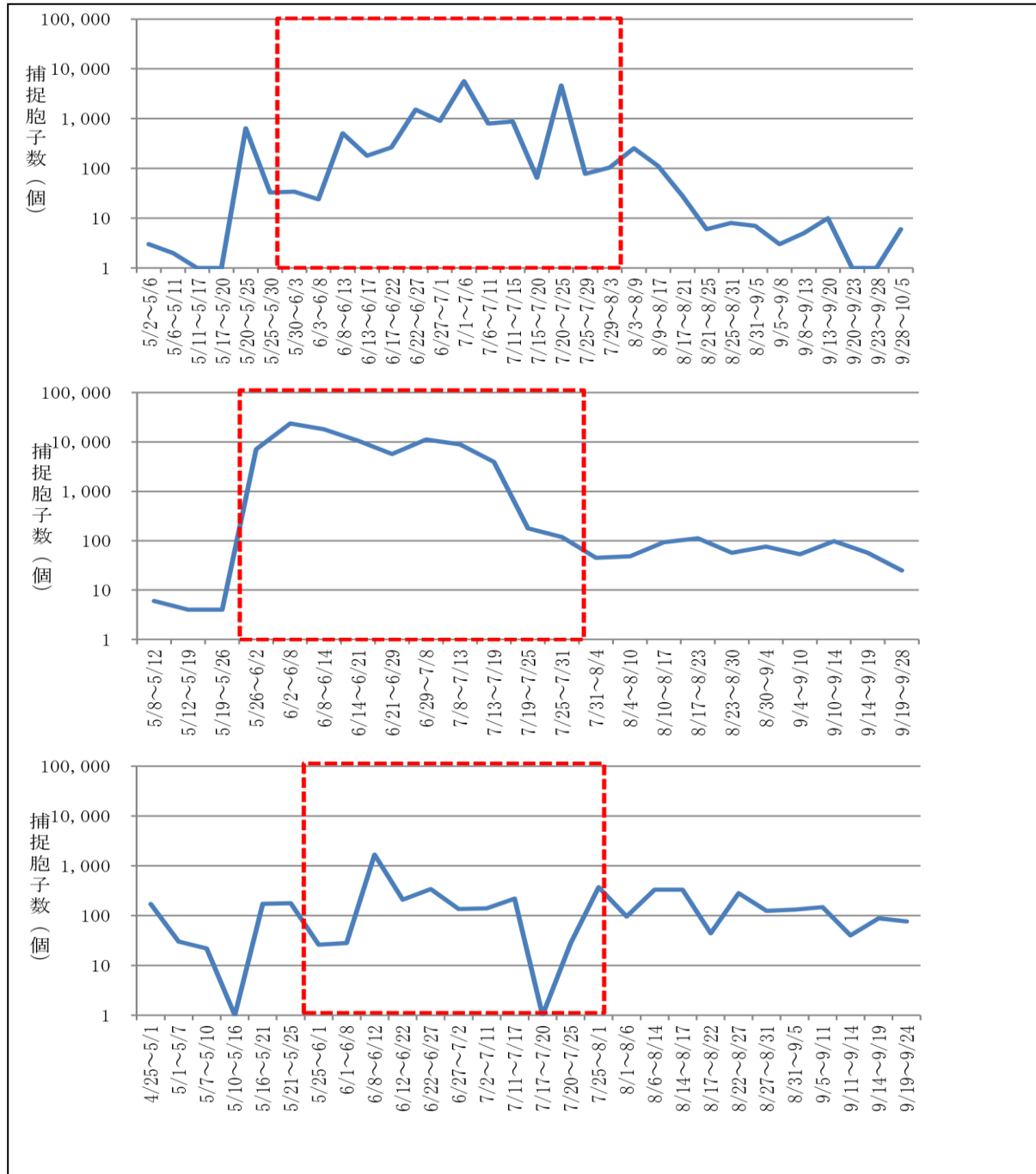


図1 カキ炭疽病の枝病斑からの分生胞子の飛散消長（平成28～平成30年度）注1）上段：平成28年度，中段：平成29年度，下段：平成30年度の調査結果。

注2）グラフ内の点線の囲みは6月から7月。

注3）目盛りは対数目盛り